

旧国鉄高砂線の加古川鉄橋



大正2（1913）年の開通に伴い、加古川に架橋された。橋長が長かったことにより、膨大な工事費を要した。また、難工事でもあった。昭和後期になると鉄橋の老朽化に伴う維持費が増大し、また、車の普及による顧客減等が一因で、昭和59（1984）年に廃線となり、鉄橋も取り壊された。



(写真：高砂歴史ガイドクラブ提供)

